

各機関の盛土の管理基準

表-21.13 各種土構造物の締固め規定

	締固め状態の規定(品質管理)				材料規定	施工規定	機能設計の前提有無	基準名		
	密度	含水比	特別規定	強度規定						
フィ ル ダ ム	「土地改良事業 フィルダム」	(設計に合う締固め度) ρ_{dmax} (1法) ×90~100%	w_{opt} (1法)±5% 以内	<ul style="list-style-type: none"> 高含水比材は許容含水比内での突固め 密度×98~100% 堤体安定、走行確保限度の強度内で高 含水比粘性土は $S_r=85\sim95\%$ or $v_a=2\sim10\%$ 		調査、設計による	設計に合う締固め	有 土地改良事業 計画設計基準 設計-フィルダム 農林省農地局 S41.6		
	ダム設計基準 「フィルダム」	砂礫材は相対密度 70%以上	各部位で若干あり			調査、設計による	各部位について例示	有 日本ダム会議 1971版		
鉄 道 盛 土	路盤(粒調) 路盤(土)	ρ_{dmax} (2法)×95%上			$K_{30} \geq 11 \text{ kgf/cm}^3$ {108MN/m ³ } $K_{30} \geq 11$ {108} $K_{30} \geq 7$ {69} $K_{30} \geq 15$ {147} 盛土本体と同じ	砕石、スラグ、CBR≥80 セレクト材、CR 材料制限有 盛土高 20m 以下 砕石、スラグ 盛土本体と同じ	一層仕上り厚 15cm 同上 一層仕上り厚 30cm 一層仕上り厚 30cm 層厚管理材	有 有 有 (有) 有 有	建造物設計 標準解説 「土構造物」 S53.11 日本国有鉄道	
	上部盛土 下部盛土 構造物接続 盛土のり面	ρ_{dmax} (2法)×90%上 (同上)								
道 路 (高 速)	路盤(粒調)	ρ_{dmax} (2法)×95%上	w_{opt} 付近		プルーフローリング 5tf {49 kN} -5mm以下	砕石、砂利、CBR≥30 セレクト材、CBR≥10 PI≤30 CBR≥5 CBR≥2.5 —	一層仕上り厚 20cm 以下 一層仕上り厚 20cm 以下 一層仕上り厚 30cm 以下 "	有 有 有 有 有	「設計要領、土工、舗装」 日本道路公団 S45.1	
	路床上部	" ×95%上	w_{opt} 付近							
	路床下部	" ×90%上	CBR≥5.0 の湿潤側							
	路体上部	ρ_{dmax} (1法)×90%上	CBR≥2.5 の含水比	<ul style="list-style-type: none"> 高含水比土は盛土安定、走行確保できる 範囲で $S_r=85\sim98\%$ or $v_a=1\sim10\%$ 						
	路体下部	"	自然含水比							
道 路	一般盛土	ρ_{dmax} (1法)×90%上 ρ_{dmax} (2法)×85%上	w_{opt} の湿潤側	<ul style="list-style-type: none"> 粘性土 $S_r \geq 85\%$, $v_a \leq 10\%$ 砂質土 $v_a \leq 15\%$ 	特に推奨しない		・締固め規定として推奨	有 道路協会 (52.1) 施工指針		
住 宅	整地 造成	ρ_{dmax} (1法)×85%上	できるだけ w_{opt} 付近	<ul style="list-style-type: none"> v_a 15~2% 		捨土：粘性土 $q_c \leq 2 \text{ kgf/cm}^2$ {196kN/m ² } 一般土 $q_c \leq 4 \text{ kgf/cm}^2$ {392kN/m ² }	<ul style="list-style-type: none"> 均等施工 試験盛土による 	有 日本住宅公団 (S50) 工事共通仕様書		
水 理 盛 土	水路 河川築堤	ρ_{dmax} (1法)×80%上 " ×80~95%		<ul style="list-style-type: none"> ライニング水路 90%上 				有 水資源公団 (S49) 土木工事管理基準		
堆 積 場	土かん止堤					良質材	一層仕上げ 30cm × $\frac{2}{3}$	有 捨石鉤さい堆積場 建設基準、解説(S48.9)		